

## 県内経済は、世界的な景気の減速を背景として、生産活動は大幅に減少、雇用情勢は悪化が続き個人消費も低迷するなど、一段と悪化している。

### 1. 平成21年2月の県内経済

消費動向をみると、大型小売店販売額（全店舗ベース）は、飲食料品を始め軒並み低調に推移、3ヵ月連続で前年を下回った。乗用車新車販売は、大型、中小型乗用車、軽乗用車がいずれも減少し全体では7ヵ月連続で前年を下回った。生産活動は、自動車、電気機械産業を中心に、多くの業種で前年を下回る動きが続いている。投資動向をみると、公共工事前払保証取扱は、県などの発注減から件数は3ヵ月ぶりに、請負金額は8ヵ月ぶりに前年を下回った。建築着工（民間・非居住用）は、工事費予定額および床面積が2ヵ月ぶりで前年を大幅に上回った。新設住宅着工戸数は、持家は前年を上回ったものの分譲住宅が大幅減となり、全体では4ヵ月連続で前年を下回った。倒産状況は、負債金額100万円以上の企業倒産件数、負債総額とも2ヵ月連続で前月を下回った。雇用情勢は、新規求人倍率、有効求人倍率（原指数）がともに16ヵ月連続で前年を下回るなど厳しい状況が続いている。

#### 〔消費動向・減少〕

大型小売店販売額（全店舗ベース）は、飲食料品を始め冬物衣料品、身の回り品などが軒並み低調に推移し、既存店ベースとともに3ヵ月連続で前年を下回った。乗用車新車販売は、大型車、主力の中小型車が大幅減、軽自動車も減少し全体では7ヵ月連続で前年を下回った。消費者物価指数は、前月比0.6%<sup>※</sup>下降し、5ヵ月連続で前月を下回った。また前年同月比も0.2%<sup>※</sup>下降し、20ヵ月ぶりに前年を下回った。個別企業の販売動向をみると、家電量販店は、冷蔵庫は堅調、薄型テレビが横ばい、パソコン、携帯電話、デジタルカメラなどは低迷しており、全体では前年を下回る水準で推移した。ホームセンターは、家庭用品、DIY商品、園芸植物などは堅調だったものの、カー・レジャー用品、灯油などが低調で、全体では前年を下回る水準で推移した。旅行取扱額は、個人の国内、団体の国内・海外旅行が景気後退の影響などから前年を下回った。

#### 〔投資動向・減少〕

公共工事前払保証取扱は、県などからの発注減により、件数では3ヵ月ぶりに、請負金額では8ヵ月ぶりに前年を下回った。1月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が前年を下回ったものの、工事費予定額および床面積は2ヵ月ぶりに前年を大きく上回った。2月の新設住宅着工戸数は、持家が前年を上回ったものの、分譲住宅が前年を大幅に下回ったことから、全体では4ヵ月連続で前年を下回った。

#### 〔生産活動・減少〕

1月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は、74.6（前月比△11.0%）と大幅に低下し、4ヵ月連続で前月を下回った。原指数も、68.1（前年同月比△31.4%）と6ヵ月連続で前年を下回った。2月の大口電力販売量は、電気機械、非鉄金属、化学、輸送用機械など主要大口需要先で前年割れが続いており、4ヵ月連続で前年を下回った。

#### 〔企業倒産・横ばい〕

負債金額100万円以上の企業倒産状況は、倒産件数および負債総額とも2ヵ月連続で前年を下回った。福島県信用保証協会の代位弁済状況は、件数が前年同月比20.4%増、金額が同102.2%増となり、それぞれ2ヵ月ぶりに前月を上回った。

#### 〔金融動向・増加〕

2月末の預金残高は前年同月比+2.7%と24ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高も前年同月比+2.7%と8ヵ月連続で前年を上回った。

#### 〔雇用動向・悪化〕

新規求人倍率、有効求人倍率（原数値）はともに16ヵ月連続で前年を下回った。また、季節調整値でみた新規求人倍率は、0.61倍（前月比△0.08%<sup>※</sup>）、有効求人倍率は0.42倍（同△0.06%<sup>※</sup>）となるなど、県内雇用情勢は一段と悪化している。

県内経済動向の概要

	項 目	平成20年12月		平成21年1月		2月	
		前年同月比	前 月 比	前年同月比	前 月 比	前年同月比	前 月 比
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	→	↗	→	↗	↘	↘
	乗用車新車登録台数	↘	↘	↘	↗	↘	↗
	消費者物価指数（総合）	→	↗	↗	→	→	↗
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	↗	↗	↗	↗	↘	↘
	建設着工棟数（民間・非居住用）	↗	↗	↗	↗	-	-
	新設住宅着工戸数	↗	↗	↗	↗	↘	↗
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	↗	↗	↗	↗	-	-
	大口電力販売量	↗	↗	↗	↗	↘	↘
企業倒産	企業倒産件数注2	↗	↗	↗	↗	↗	↗
	企業倒産金額注2	↗	↗	↗	↗	↗	↗
金融動向	預 金	↗	↗	↗	↗	↗	↗
	貸 出 金	↗	↗	↗	→	↗	↗
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注3	↗	↗	↗	↗	↗	↗
	新規求人倍率（パート含む）注3	↗	↗	↗	→	↗	↗

良化 ↗      良化傾向にあるがほぼ横這い ⇨      悪化傾向にあるがほぼ横這い ⇨      悪化 ↘  
 注1：前月比は季節調整値、前年同月比は原指数。注2：負債総額10百万円以上。注3：前月比は季節調整値。前年同月比は原指数。

## 2. 県内経済動向

### — 消費動向 —

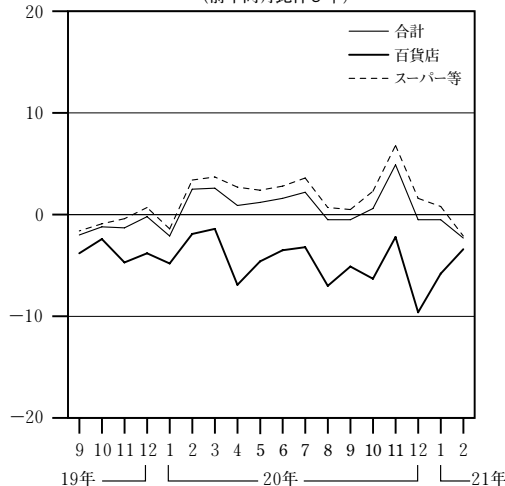
**大型小売店** 2月の県内大型小売店の販売額は、飲食料品を始め、紳士・婦人服などの冬物衣料品や身の回り品などが軒並み低調に推移し、全店舗ベースで168億96百万円（前年同月比△2.3%）と3ヵ月連続、既存店ベースでも同3.7%減と3ヵ月連続で前年を下回った。（注：既存店とは調査月において当月と前年同月でともに存在した事業所の数値。）

業態別に内訳をみると百貨店は、主力の婦人服などの冬物衣料品を始め身の回り品、飲食料品などが低調に推移し、全店舗ベースで29億3百万円（同△3.4%）と、既存店ベース（同△3.4%）とともに18ヵ月連続で前年を下回った。

スーパーは、主力の飲食料品が堅調だったものの、身の回り品、冬物衣料品などが低調だったことから、全店舗ベースで139億93百万円（同△2.1%）と13ヵ月ぶりに前年を下回り、既存店ベースでも同3.8%減と3ヵ月連続で前年を下回った。

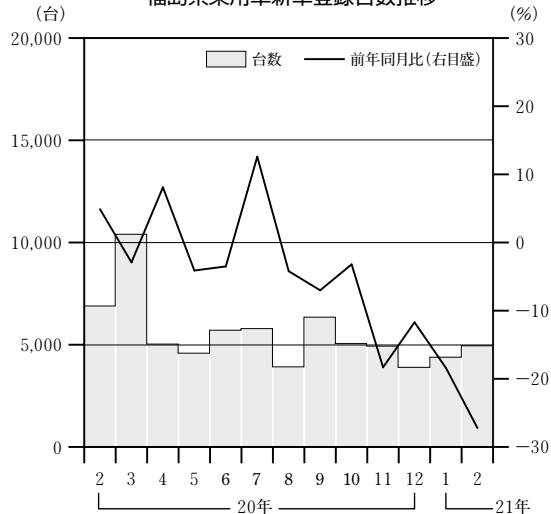
**乗用車販売** 2月の乗用車新車登録台数（軽乗用車含）は、合計で5,056台（前年同月比△27.2%）と大幅に減少し7ヵ月連続で前年を下回った。車種別でみると、大型乗用車が458台（同△40.0%）、主力の中小型乗用車が2,367台（同△33.2%）と、それ

福島県大型小売店販売額（全店舗）  
（前年同月比伸び率）



（資料：経済産業省）

福島県乗用車新車登録台数推移



（資料：福島県自動車販売店協会）

ぞれ7ヵ月連続、軽乗用車が2,231台（同△15.6%）と3ヵ月連続でいずれも前年を下回った。

2月の乗用車中古車販売台数（軽自動車は名義変更を含む）は、合計で10,060台（前年同月比△9.5%）と5ヵ月連続で前年を下回った。車種別にみると大型乗用車は2,855台（同△6.8%）と、2ヵ月ぶりに前年を下回った。また、中小型乗用車は3,894台（同△10.9%）、軽乗用車は3,311台（同△10.1%）で、ともに5ヵ月連続で前年を下回った。

**消費者物価指数** 2月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成17年=100）でみると、100.8（前月比△0.6<sup>㊦</sup>）となり、5ヵ月連続で前月を下回った。また、前年同月比では0.2ポイント下がり、20ヵ月ぶりに下降した。

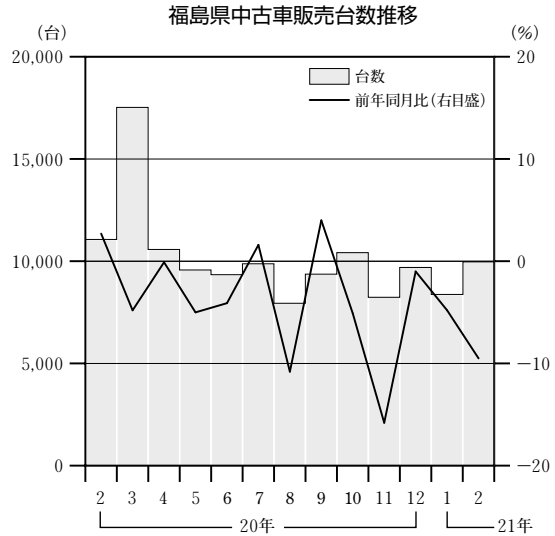
費目別の指数動向をみると、前月上昇したのは、「交通通信」が96.6（前月比+0.6<sup>㊦</sup>）と6ヵ月ぶり、「教育」が102.7（同+0.3<sup>㊦</sup>）と9ヵ月ぶりにそれぞれ上昇した。一方、前月比下降したのは、「被服及び履物」が91.0（同△5.2<sup>㊦</sup>）と3ヵ月連続、「食料」が105.5（同△1.2<sup>㊦</sup>）と3ヵ月ぶり、「家具・家事用品」が95.5（同△0.8<sup>㊦</sup>）、「住宅」が99.2（同△0.5<sup>㊦</sup>）、「光熱・水道」が109.4（同△0.2<sup>㊦</sup>）とそれぞれ2ヵ月ぶりに前月を下回った。「保健医療」は97.6で前月と変らなかった。

**家電量販店** 2月の売上状況は、冷蔵庫は堅調、薄型テレビが横ばい、パソコン、携帯電話、デジタルカメラ、DVDレコーダーなどは低迷しており、全体では前年を下回る水準で推移した。

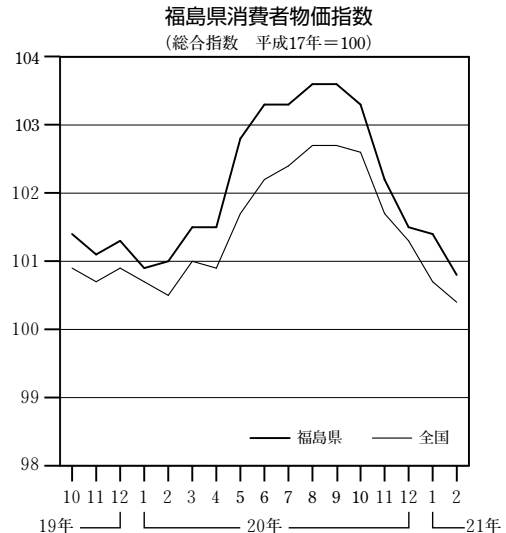
**ホームセンター** 2月の売上は、家庭用品、DIY商品、園芸植物などは堅調だったものの、カー・レジャー用品や灯油などが低調に推移したことから、全体では前年を下回る水準で推移した。

**旅行** 2月の旅行取扱額実績は、個人の海外旅行が円高を背景に前年を上回ったものの、総じて景気後退の影響などから、個人国内および、国内・海外団体は前年を下回った。

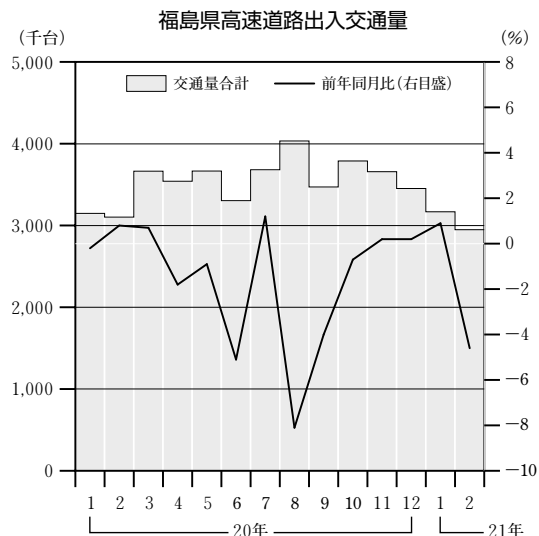
**高速道路** 2月の県内自動車道通過台数は2,972,024台（前年同月比△4.6%）と4ヵ月ぶりに前年を



(注) 軽自動車は名義変更台数含む  
資料：(社)日本自動車販売協会連合会 福島支部  
(社)全国軽自動車販売協会連合会



(資料：総務省統計局)



(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

下回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）は1,760,146台（同△5.4%）と2ヵ月ぶりに減少、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は217,410台（同+1.6%）と5ヵ月連続で増加、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は437,102台（同△1.7%）と4ヵ月ぶりに前年を下回った。常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は557,366台（同△6.6%）と16ヵ月連続で前年を下回った。

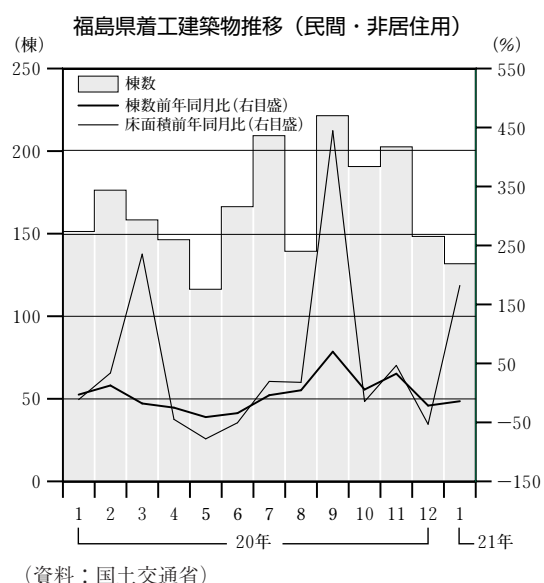
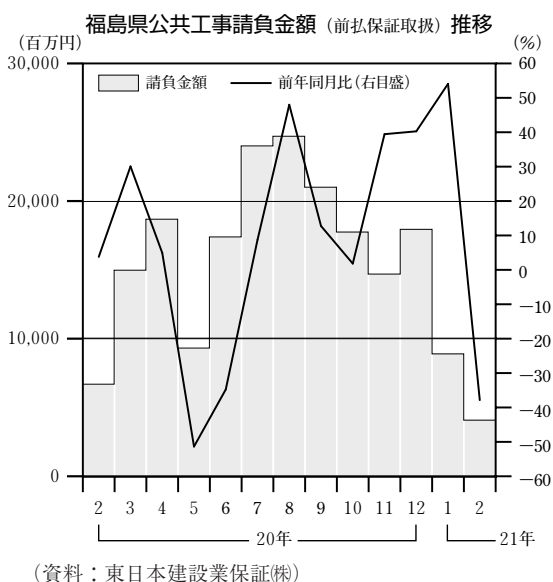
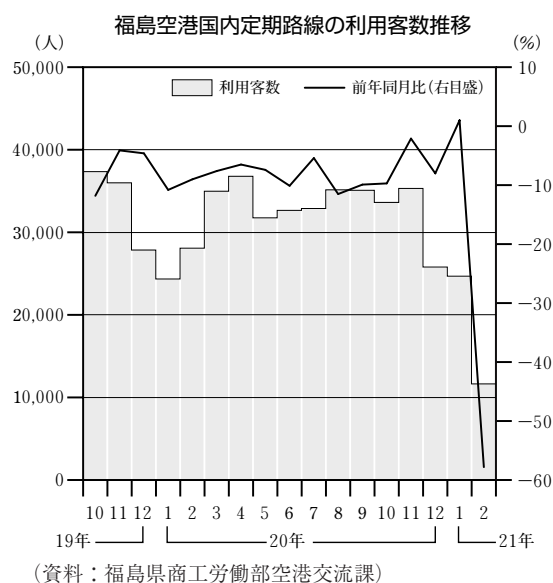
**福島空港** 2月の福島空港国内定期路線の利用状況は、日本航空の撤退に伴う大阪（関空発着）・沖縄両路線の廃便により、11,901人（前年同月比△57.8%）と前年を大きく下回った。路線別にみると、札幌便は5,949人（同△14.7%）と4ヵ月連続、大阪便は5,952人（同△60.9%）と14ヵ月連続とともに前年を下回った。一方、国際定期路線の利用状況は、3,734人（同△19.8%）と4ヵ月連続で前年を下回った。路線別にみるとソウル便は3,001人（同△19.4%）と4ヵ月連続、上海便は733人（同△21.4%）と13ヵ月連続で、ともに前年を下回った。

## —— 投資動向 ——

**公共工事** 2月の公共工事前払保証取扱は、件数が215件（前年同月比△34.8%）と県などからの発注減により3ヵ月ぶりに、請負金額が41億66百万円（同△37.7%）と8ヵ月ぶりに、保証金額が20億62百万円（同△34.0%）と4ヵ月ぶりに、それぞれ前年を下回った。

主な発注者別の請負金額は、国が前年比1億26百万円減少し、16億36百万円（同△7.2%）となった。また、県は同19億70百万円減少し、8億85百万円（同△69.0%）、市町村が同1億31百万円減少し、14億92百万円（同△8.1%）となった。

**設備投資** 1月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が133棟（前年同月比△12.5%）と2ヵ月連続で減少、工事費予定額は123億34百万円（同+199.7%）、床面積は130,522㎡（同+183.8%）



と、それぞれ2ヵ月ぶりに前年を大きく上回った。

2月の建築物確認件数（計画変更を除く）は、595件（前年同月比△17.9%）と5ヵ月連続で前年を下回った。建築物別にみると、1～3号建物（一定規模以上の建築物が対象）が116件（同△29.7%）、4号建物（小規模な木造・非木造住宅などが対象）が479件（同△14.5%）と、ともに5ヵ月連続で前年を下回った。「構造計算適合性判定合格件数」は8件と前月比11件減少し、2ヵ月連続で前月を下回った。

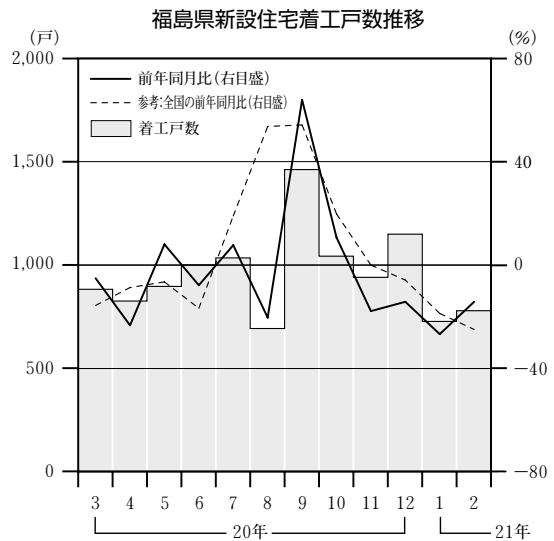
建築物着工の先行指標である2月の建築物申請件数は、577件（同△24.1%）と4ヵ月連続で前年を下回った。建築物別にみると、1～3号建物は96件（同△36.8%）と5ヵ月連続、4号建物は481件（同△20.9%）と4ヵ月連続で、ともに前年を下回った。「構造計算適合性判定申請件数」は10件と、前月比1件増加し4ヵ月ぶりに前月を上回った。

**住宅建設** 2月の県内新設住宅着工戸数は、783戸（前年同月比△14.2%）と4ヵ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は399戸（同+7.5%）と3ヵ月ぶりに増加、「貸家」は265戸（同△14.8%）と4ヵ月連続、「分譲住宅」は79戸（同△62.9%）と5ヵ月連続で、いずれも前年を下回った。分譲住宅のうちマンションは5ヵ月連続で着工戸数がなかった。

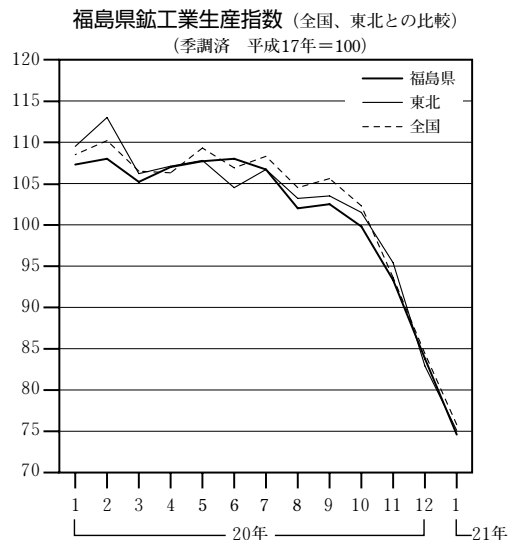
## 生産活動

**鉱工業生産指数** 1月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数でみると74.6（前月比△11.0%）と大幅に低下し4ヵ月連続で前月を下回った。原指数も68.1（前年同月比△31.4%）と同様に大幅な低下となり6ヵ月連続で前年を下回った。

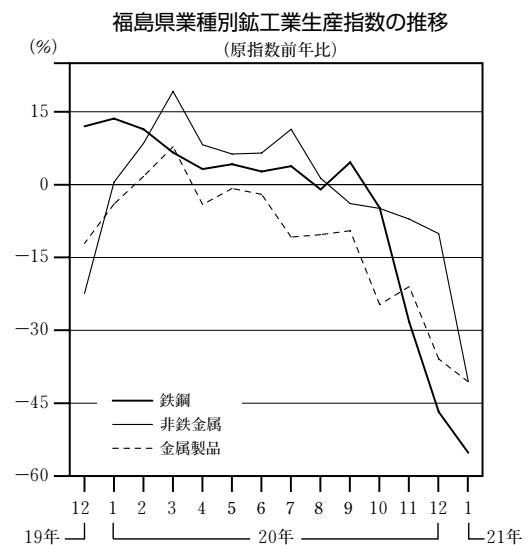
上昇および低下した主な業種別（季節調整済指数）では、印刷業で150.7（前月比+25.5%）、化学工業で97.1（同+6.8%）など6業種で上昇した。一方、電子部品・デバイス工業で59.7（同△29.8%）、情報通信機械工業で78.7（同△25.5



(資料：国土交通省)



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県企画調整部統計調査課)

%)、輸送機械工業で37.7 (同△25.5%)、非鉄金属工業で63.4 (同△19.1%)と14業種が低下した。

**化学** 2月の食品包装フィルム用合成樹脂やフッ素樹脂は堅調だったものの、金属代替プラスチック、炭素繊維などは前年を下回る水準で推移した。酸化チタン(白色顔料、自動車用塗料向け)、バリウム化合物(電子部品原料)および電子材料(コンデンサー、リチウムイオン電池等材料)の生産なども前年を大きく下回る水準で推移した。

**鉄鋼・金属** 2月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材、半導体向け電子材がともに前年を大幅に下回る水準で推移した。建機用鋳造品の生産は、在庫調整の動きを受け、前年を大きく下回る生産となった。車両用鋳造品は、新幹線およびJR中央線・京浜東北線の更新需要および海外需要に支えられ、前年をやや下回る水準で推移した。船舶用バルブ部品、陸上プラント用バルブ部品は、前年を下回る水準で推移した。

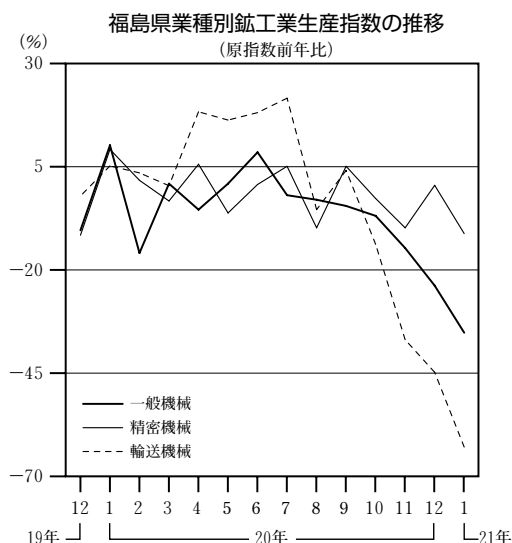
**輸送用機械** 2月の自動車用鋳造品の生産は、国内外の需要が大きく減退し、前年を大きく下回る水準で推移した。自動車用オイルシールの生産は、在庫調整の動きを受け前年を大幅に下回った。カーナビ・カーオーディオの生産は、自動車メーカーの生産調整の動きを受け、前年を大幅に下回る水準で推移した。

**電気機械** 2月の変圧器、配電盤は堅調、電熱炉、自動車モーターの生産は前年を下回る水準で推移した。

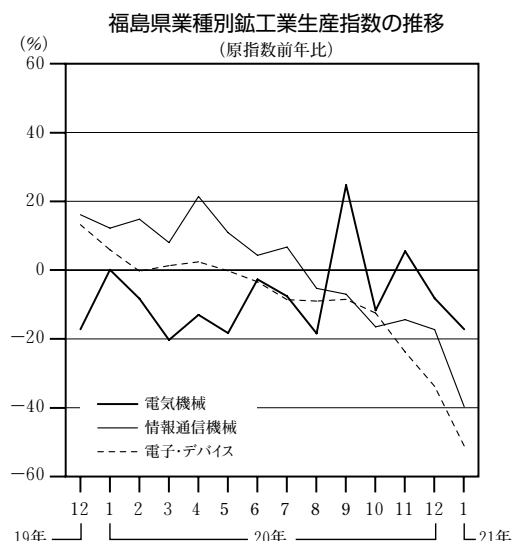
**情報通信機械** 2月の携帯電話中継局用マイクロ波通信機器の生産は、主力のインド向けが落ち込み、前年を下回る水準で推移した。衛星通信機器関連、OA関連機器の生産は、前年並みの水準で推移した。

**電子部品・デバイス** 2月のLSI(大規模集積回路)の生産は、主力のAV・ゲーム機・家電、産業機器を始め、車載品、パソコン・OA、通信向け、携帯電話向けなど、総じて前年を大きく下回る水準となった。

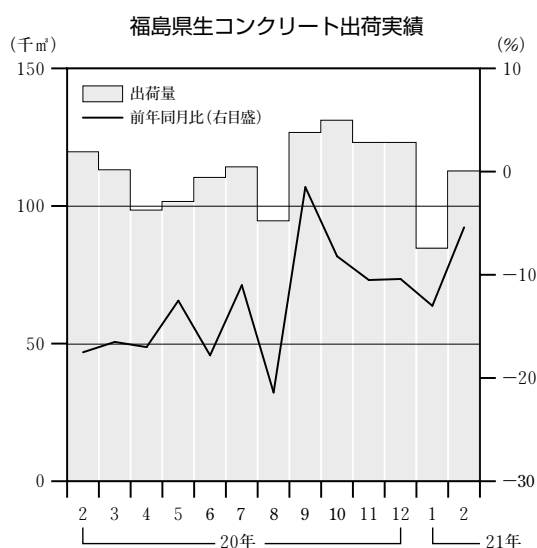
**精密機械** 2月の医療用内視鏡の生産は前年を下



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)

回る水準で推移した。デジタル一眼レフカメラ用レンズは、在庫調整から前年を下回る水準で推移した。

**紙・紙加工品** 2月の段ボールの生産は、前年を大幅に下回る水準で推移した。感熱紙、インクジェット紙、ノーカーボン紙の生産も、前年を大きく下回る水準で推移した。

**窯業・土石** 2月の生コンクリート出荷量は、全体で113,636<sup>m</sup><sub>3</sub>（前年同月比△5.4%）と16ヵ月連続で前年を下回った。増加地区をみると、官公需では、白河地区で砂防工事、いわき地区で三和トンネル、港湾関係などにより増加した。

**清酒** 2月の清酒移出数量は、1,354<sup>kl</sup>（前年同月比△10.0%）と5ヵ月連続で前年を下回った。タイプ別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が389<sup>kl</sup>（同△3.2%）と6ヵ月ぶりに前年を下回った。一般酒（特定名称酒以外の酒）は、965<sup>kl</sup>（同△12.5%）と5ヵ月連続で前年を下回った。

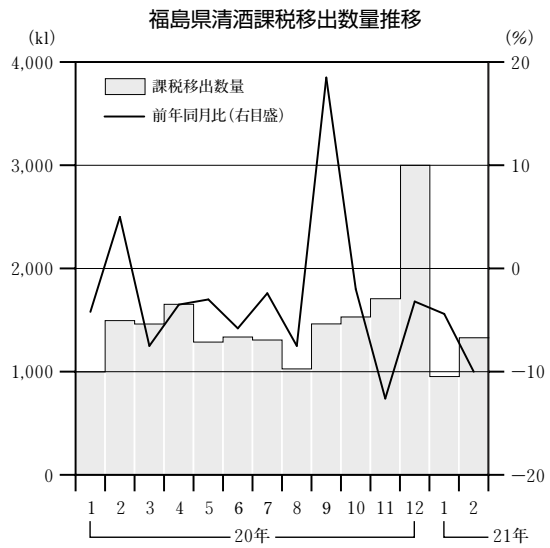
**化合繊維物** 2月のナイロンの生産はダウンジャケット（表地）向けを中心に前年をやや下回る水準で推移した。ポリエステルは、紳士服、婦人服の裏地向けを中心に前年をやや上回る水準で推移した。

**ニット** 2月のニットの生産は、国内需要の低迷から、受注・生産は低調な水準で推移した。

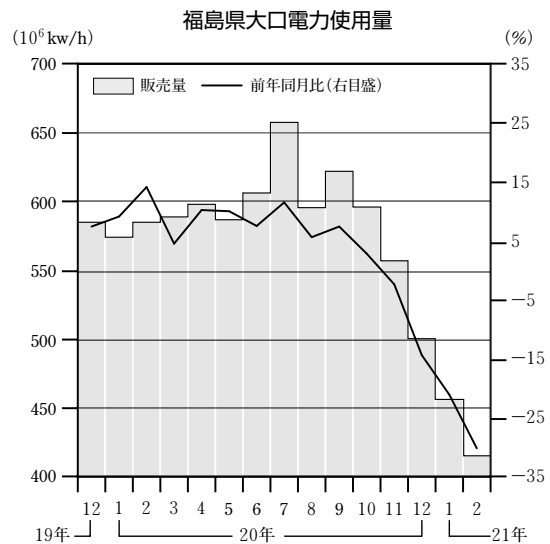
**大口電力** 2月の大口電力販売量は、410百万<sup>kw/h</sup>（前年同月比△30.1%）と4ヵ月連続で前年を下回った。大口主要販売先を業種別にみると、「電気機械」で90百万<sup>kw/h</sup>（前年同月比△26.6%）、「非鉄金属」で77百万<sup>kw/h</sup>（同△34.5%）、「化学」で40百万<sup>kw/h</sup>（同△29.6%）、「輸送用機械」で34百万<sup>kw/h</sup>（同△45.1%）、「一般機械」で21百万<sup>kw/h</sup>（同△32.3%）、「紙・パルプ」で15百万<sup>kw/h</sup>（同△47.5%）となり、それぞれ前年を下回った。

—— 企業倒産 ——

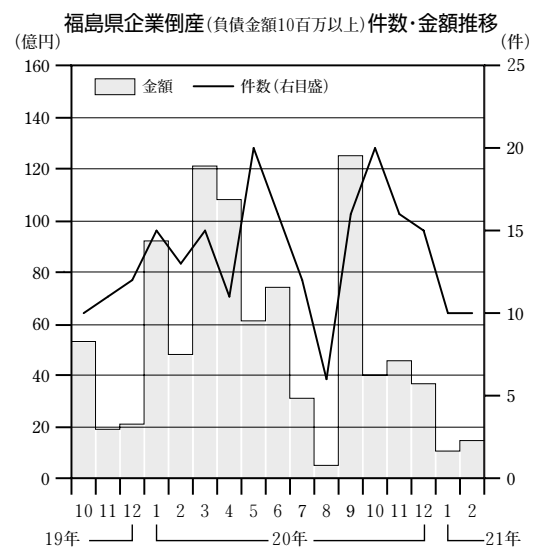
**企業倒産** 2月の企業倒産（負債金額100万円以



（資料：福島県酒造組合）



（資料：東北電力福島支店）



（資料：帝国データバンク福島支店）

上)は、倒産件数が10件(前年同月比△23.1%)、負債総額が15億19百万円(同△68.3%)となり、それぞれ2ヵ月連続で前年を下回った。

倒産主因別内訳は、受注・販売不振9件、設備投資失敗1件となった。業種別内訳は、建設業、小売業がともに3件、卸売業、運輸・通信業がともに2件となった。地区別内訳は、県北が4件、県南、会津、浜通りがそれぞれ2件となった。

## 金融動向

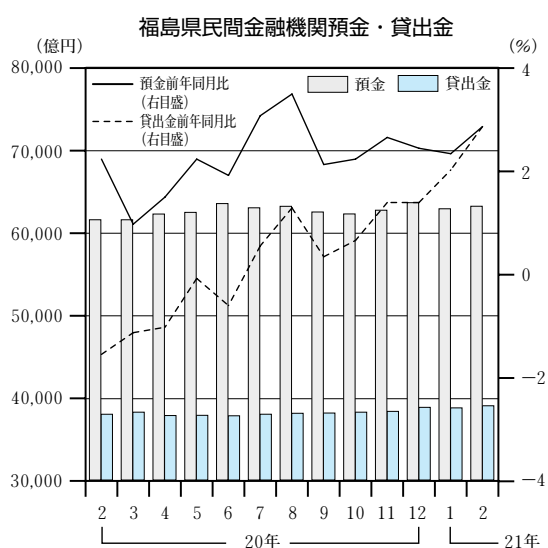
**資金需要** 県内金融機関(全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分)の2月末の預金残高は、6兆3,233億円(前年同月比+2.7%)と24ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高は、3兆9,015億円(同+2.7%)と8ヵ月連続で前年を上回った。

**保証協会** 2月の保証承諾は、件数が1,891件(前年同月比+70.7%)と3ヵ月連続、保証金額が245億69百万円(同+125.6%)と5ヵ月連続で前年を上回った。一方、代位弁済は、件数が112件(同+20.4%)、金額が10億82百万円(同+102.2%)と、それぞれ2ヵ月ぶりに前年を上回った。

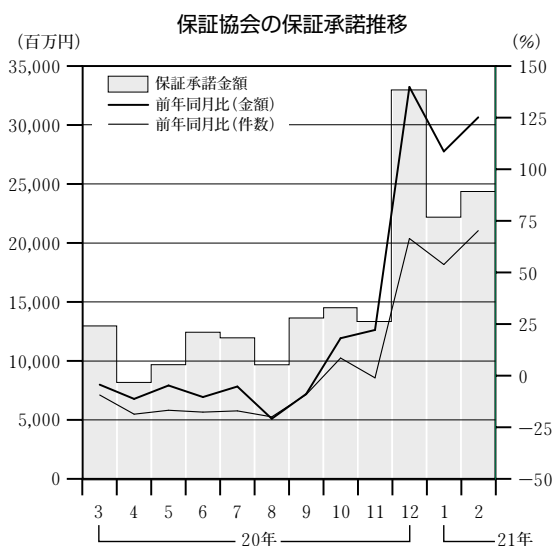
## 雇用動向

**雇用動向** 2月の新規求人数(原数値)は、8,285人(前年同月比△29.0%)と16ヵ月連続で前年を下回った。一方、新規求職申込件数(原数値)は、13,251件(同+30.7%)と6ヵ月連続で前年を上回った。

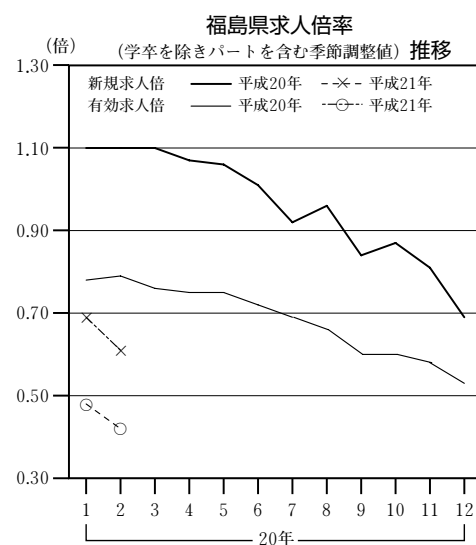
新規求人倍率(季節調整済、パート含)は、0.61倍と前月比0.08ポイント低下した。原数値は0.63倍(前年同月比△0.53%)と16ヵ月連続で前年を下回った。有効求人倍率(季節調整済、パート含)は、0.42倍(前月比△0.06%)と4ヵ月連続で前月を下回った。原数値は0.44倍(前年同月比△0.38%)と16ヵ月連続で前年を下回った。



(資料：日本銀行福島支店)



(資料：福島県信用保証協会)



(資料：福島労働局職業安定部)